

授業科目 中枢神経系治療学

【担当教員名】 押木利英子 高橋明美 田中 健	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

脳血管障害の障害背景を理解する  
 脳血管障害の各病期に応じた理学療法評価と治療法を学ぶ  
 中枢神経系疾患の理学療法法の概要を学ぶ

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 脳卒中片麻痺患者について急性期、回復期、維持期に応じた障害像が説明できる。
2. 発症時の特徴から脳卒中の種類を予測し説明できる。
3. 合併症の分類と予防の重要性を説明できる。
4. 片麻痺の代表的な運動機能検査の特徴を列挙しその方法を説明できる。
5. 高次機能障害の特徴を列挙し、その方法を説明できる。
6. リスク管理の重要性について説明できる。
7. 片麻痺患者の症状を評価し治療計画を立てることができる。
8. 中枢神経系リハビリテーション全般にわたる各種治療法の特徴と適応について説明できる。
9. 急性期・回復期・維持期の理学療法法の相違とリハビリテーションの流れを説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	治療学総論（障害像、病態）	1	講義 高橋
2	回復過程とその徴候、合併症	2, 3	講義 高橋
3	運動機能検査、高次機能障害、リスク管理	4, 5, 6	講義 高橋
4	治療計画	7	講義 押木
5	ケーススタディ（記録の書き方）	7	講義 押木
6	神経生理学的アプローチ概論	8	講義 押木
7	急性期の理学療法（1）	9	講義 田中
8	急性期の理学療法（2）	9	講義 田中
9	回復期の理学療法（1）	9	講義 田中
10	回復期の理学療法（2）	9	講義 田中
11	維持期の理学療法	9	講義 田中
12	在宅の理学療法	9	講義 田中
13	症例検討（1）		講義・実習
14	症例検討（2）		講義・実習
15	期末テスト		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	「脳卒中最前線第3版」藤田勉（他）著、医歯薬出版 ¥8640			
参考書	「標準理学療法学/運動療法学総論」、「同/運動療法学各論」、「同/臨床実習とケーススタディ」、「ステップス トウ フォロー」P.デービス著、シュプリンガー。フェアラーク東京KK			
その他の資料	プリント、他			

【評価方法】

出席、小テスト、期末テスト、その他

【履修上の留意点】

動きやすい服装で参加すること  
 予告なしに小テストを実施することがある